

《発電所長就任のご挨拶》



女川原子力発電所長
阿部 正信

このたび、女川原子力発電所長に就任いたしました阿部正信でございます。

これまで当発電所の所長代理として、地域の皆さまから大変お世話になってまいりました。これまで以上に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、当発電所の使命は、「世界一安全な発電所を造り上げて再稼働し、皆さまに電気をお届けして地域と社会の発展に貢献すること」であります。その実現に向けて安全と品質を十分確保したうえで、安全対策工事を着実に進めてまいります。

引き続き、安全を最優先に発電所を運営し、分かりやすく情報を発信するとともに、地域の一員として皆さまとのコミュニケーションを図り、より信頼していただける発電所となるよう努めてまいりますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

女川2号機安全対策工事完了時期の見直し～2023年11月の完了を目指します～

女川2号機の安全対策工事は、2022年度の完了を目指してきましたが、昨年12月の工事計画の認可により工事内容が確定し、工事全体の工程をより詳細に見通せる状況となったことから、作業の安全確保を大前提に改めて工事完了時期を評価しました。その結果、「圧力抑制室※の耐震補強工事」などが工程に与える影響を考慮し、2023年11月の完了を目指すこととしました。

※原子炉格納容器の一部で、大量の水を常時貯蔵しており、非常時に原子炉格納容器の圧力を下げるための円環形（ドーナツ状）の構造物。

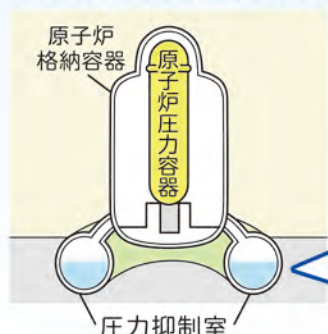
動画解説



圧力抑制室の耐震補強工事の概要について

- 圧力抑制室本体や内部の構造物への補強部材を追加することで、耐震性を向上させます。
- これまでに経験のない工事となることから、実機模型を作成し、工法や工程を検討してきました。

原子炉格納容器全体図



圧力抑制室の実機模型



圧力抑制室内部



女川2号機の使用前確認申請書を国へ提出

当社は、3月30日、女川2号機の使用前確認申請書を原子力規制委員会へ提出しました。

今後、安全対策工事の進捗状況に合わせ、当社は使用前事業者検査を行います。本申請はこの検査が適正に実施され終了していることを原子力規制委員会に確認いただくためのものです。

なお、本申請における使用前事業者検査の工程は、下記のとおりⅠ～Ⅲの段階があり、他社事例や当社の定期検査実績を踏まえ、一定の目安として、発電を開始する「再稼働」時期を「2024年2月」と想定しています。

使用前事業者検査の主な工程

	2022年												2023年												2024年							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			
原子炉本体等	工事期間																															
	Ⅰ.燃料体を挿入できる段階の検査																															
	Ⅱ.原子炉を起動する段階の検査 ※																															
	Ⅲ.工事完了時の検査																															

※一定の目安としての再稼働時期

《見て・触れて・体験して 楽しく電気を学んでみよう♪》

女川原子力PRセンターでは、校外学習や子ども会・児童クラブ・家族単位で電気について楽しく学べるワークショップを開催しています。

手回し発電機を使った「発電実験」や映画館のような大画面での「発電所のバーチャル見学」など、楽しみながらエネルギーについて学ぶことができます。

随時、お申し込みいただけますので、お気軽にお問い合わせください。



発電所員が講師を務める
エネルギー講座



手回し発電機を使った実験



大型スクリーンで発電所を
バーチャル見学

お問い合わせ先

女川原子力PRセンター（〒986-2221 女川町塚浜字前田123）
開館時間 9:30～16:30 《休館日：毎月第3月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始》
電話番号 0225-53-3410

《交通安全活動を実施しました》

4月6日、春の交通安全運動にあわせ、発電所員および構内協力企業従業員19名が安全運転意識の向上を目的とした活動を行いました。

当日は、飯子浜地区および小積浜地区において、交通安全メッセージが書かれたのぼり旗を掲げ、往来する車両に安全運転を呼びかけました。

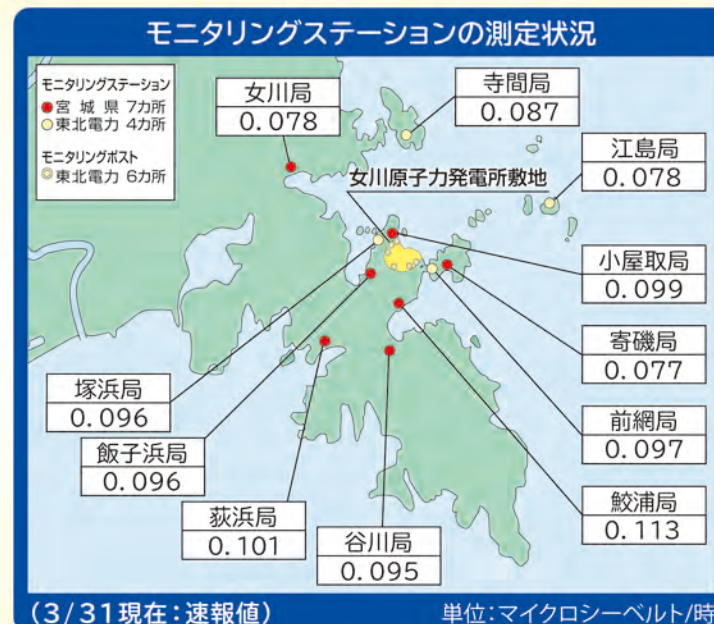


安全運転を呼びかける参加者（左：飯子浜地区、右：小積浜地区）

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2022年3月31日の測定値は、最大で0.062マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考) モニタリングポストの最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年 3月11日	0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年 3月13日	1.8～21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	
2012年 4月 1日	0.063～0.098
2013年 4月 1日	0.055～0.076
?	?
2020年 4月 1日	0.034～0.055
2021年 4月 1日	0.034～0.047
2022年 3月 1日	0.034～0.046
2022年 3月 31日	0.033～0.062

単位：マイクロシーベルト/時

「女川町の魅力再発見動画 第3弾」を公開中 ～ONAGAWA enJOINUS～

特定非営利活動法人アスヘノキボウ(女川町)と当発電所員有志が協働制作した女川町で活躍する人や話題のスポットを紹介する「女川町の魅力再発見動画(第3弾)」が公開中です。

今回の動画では、本格ナポリピッツァのお店「イル・ガッピアーノ」、オリジナルブレンドティーを楽しめる「ティーベルティーファクトリー」に加え、「女川原子力PRセンター」も紹介しています。ぜひ、ご視聴ください。



イル・ガッピアーノ



女川原子力PRセンター

動画視聴は
コチラ



ティーベルティーファクトリー

- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。